

科目名	医学概論（社会福祉士必修）			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2021年度 前期	単位数	2	
担当教員	玉川 和子			
内容および計画	<p>社会福祉および保育の専門職は、対象を深く理解し、社会資源の有効活用による包括的支援力が求められる。そのため本講義では、心身の疾病・障害と、社会的側面を含めた健康の概念をもとに医学一般の基礎を学ぶ。</p> <p>また、将来関わる対象が、個別的で常に心身が変化し続ける存在（人間）であることを学ぶ。</p> <p>主な内容</p> <p>1. ライフステージにおける心身の変化と健康課題 2. 健康および疾病の捉え方 3. 身体構造と心身機能</p> <p>4. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程 5. 公衆衛生の観点からの健康増進と保険医療対策</p> <p>講義の進行に関しては、上記3、4の各章は関連があるため、併行学習とする。</p>			
1	<p>1. ライフステージにおける心身の変化と健康課題</p> <p>第1章 人の成長・発達と老化 ①ライフステージにおける心身の特徴 ②加齢・老化 ③健康課題</p>			
2	<p>2. 健康および疾病の捉え方</p> <p>第7章・6章 ①健康の概念 ②疾病の概念 ③国際生活機能分類（ICF）</p>			
3	<p>3. 身体構造と心身の機能</p> <p>第2章 身体構造と心身の機能 ①人体部位の名称 ②器官系と臓器の役割</p> <p>第3章 疾病の概要 1. 生活習慣病と未病</p>			
4	<p>4. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程</p> <p>第3章 疾病の概要 ①疾病の発生原因 ②病変の成立機序 ③悪性新生物と緩和ケア</p>			
5	<p>第2章 ①心臓の構造と循環器系 ②水分と脱水</p> <p>第3章 ①心疾患 ②高血圧</p>			
6	<p>第2章 ①腎臓の構造と泌尿器系 ②消化と吸収</p> <p>第3章 ①腎・泌尿器系疾患 ②消化器・肝胆膵疾患</p>			
7	<p>第2章 ①呼吸器の構造と換気</p> <p>第3章 ①呼吸器疾患 ②感染症</p>			
8	<p>第2章 ①神経の構造と機能 ②身体機能の調節</p> <p>第3章 ①脳血管疾患 ②神経疾患と難病</p>			
9	<p>第2章 ①内分泌器官 ②生殖器</p> <p>第3章 ①糖尿病と内分泌疾患 ②先天性疾患 ③婦人科疾患</p>			
10	<p>第2章 ①血液の成分 ②支持運動器官</p> <p>第3章 ①血液・免疫・アレルギー疾患 ②骨・関節疾患 ③高齢者に多い疾患</p>			
11	<p>第2章 ①感覚器 ②皮膚</p> <p>第3章 ①眼科疾患・耳鼻咽喉疾患・口腔疾患</p>			
12	<p>第5章 リハビリテーションの概要と範囲</p> <p>第4章 障害の概要 ①視覚障害 ②聴覚障害 ③平衡機能障害 ④肢体不自由 ⑤内部障害</p>			
13	<p>第4章 ①知的障害 ②精神障害（DSM含む） ③発達障害 ④認知症 ⑤高次機能障害</p>			
14	<p>5. 公衆衛生の観点からの健康増進と保険医療対策</p> <p>①健康の社会的決定要因（SDH） ②健康増進・保険医療の対策</p>			
15	まとめ			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	『新・社会福祉士養成講座 1 人体の構造と機能及び疾病』 第3版	[編集] 社会福祉士養成講座 編集委員会	中央法規	9784805851005 2018

参考書				
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	「受講状況（出席状況・講義中の課題内容・態度）」			30
	「筆記試験」			70
学習到達目標	目標：1. ライフステージにおける心身の特徴と健康課題が理解できる。 2. 健康及び疾病の捉え方、国際生活機能分類（ICF）の基本的な考え方が理解できる。 3. 器官系と臓器の役割が理解できる。 4. 疾病・障害・リハビリテーションの概要が理解できる。 5. 健康の社会的決定要因（SDH）と健康・保険対策が理解できる。			
先修条件				
実務経験	有り：4年間、准看護学校で疾患を含む講義を担当した。			
その他				